

## 第3回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会 議事録

令和7年7月23日 午前10時～

### 【保護者との意見交換についての感想や質問など】

<問>説明させていただいた『保護者との意見交換』についての感想や、質問などがあれば、お聞かせいただければと思います。

#### (1) 保護者との意見交換の内容について

- ・統合が良いと単純に考えていたが、アンケートを見るといろいろな意見があり、まとめるのが難しいと思う。
- ・たくさんの方の意見を聞くことは物事を進めるには大事なことだが、聞いてばかりでは次のステップに進めない。
- ・保護者の意見は、統合ありきで考えた意見が多いように思うが、地域では反発する声も出てくる。話の重点をあまりに統合に持っていくことはまだ止めた方が良いのではと感じた。

#### 《教育委員会》

⇒保護者との話し合いでは、統合ありきでなく、小規模校の教育についてという話から進めていった。しかし、保護者からは「もっと踏み込んだ話をしたい」という反応があり、保護者の方から統合について話を進める事が多かった。

- ・周りの参加していない保護者からも「統合はするでしょう」という意見があった。
- ・周りには、統合自体が嫌だという方は少なく、問題をどう解決するかという話をする方が有意義であり、次に進めるのではという考えの方が多い。
- ・やはり保護者としては通学が一番心配だと思う。アンケートの反対意見は通学の問題が多いので、通学の問題がクリアになれば、もっと前向きに考えられ、賛成が増えると思う。通学面、安全面の部分をどのようにするのかを知りたい。
- ・統合する場所がどこになるかが明確でないため、「どちらとも言えない」という意見が多いと思う。結局、通学面の問題や跡地の活用方法をどうするかという話になる。
- ・以前、平成27年度に統合の話が出たときは、清和台南小に統合するとされていたが、なぜ地域のある清和台小ではなかったのか。築年数だけでなく、他に何の理由があるのか、という話は保護者の間では出ていた。

#### 《教育委員会》

⇒当時は、グラウンドの広さや採光、廊下の広さなど、教育を進める上で使いやすいただろうという理由から清和台南小の方が良いだろうとされた。

- ・第1回地域説明会では、清和台南小学校への統合よりも、清和台小学校へ統合した方が学校から最も遠い地域からの通学距離が短いという説明があった。そういった点で過去に清和台南小学校を選んだことに疑問に思われたのかもしれない。
- ・校舎の耐用年数が60年と聞いた。どのように考えられているのか。どの学校も、60年の耐久年数まで残りの期間が十分あるわけではないと思う。

#### 《教育委員会》

⇒60年を1つの基準としているが、工事を行って80年使用するという方針もある。すでに老朽化している学校については、補修して80年使用するよりも、新設した方が良いのではないかという考えもある。現在も順次対応を進めるスケジュールが組まれているが、清和台小学校と清和台南小学校はまだその対象にはなっていない。

- ・他市に住んでいる保護者と話した中で、小中一貫校のことが話題になった。小中一貫校の話が進み、

新しい学校ができれば、地域の魅力が向上し、清和台地区を選ぶ家庭が増えるのではないかと感じた。

### 《教育委員会》

⇒義務教育学校のカリキュラムは柔軟に組める利点があり、中学校の教員が専門性を活かして小学校で指導したり、苦手な単元を小学校の学習内容に戻って学び直したりすることができる。加古川市の義務教育学校「両荘みらい学園」では、小学校6年、中学校3年の区分ではなく、9年間を「4・3・2制」に区切っている。単に小学校と中学校を統合しただけでなく、地域の施設も敷地内に併設している点もユニークである。図書室や調理室に加え、公民館のような機能を持つ施設も配置されている。さらに、校舎の設計にも工夫が施されており、オープンスペースを活用した造りになっている。

この学校は、令和6年4月に2つの小学校と1つの中学校が統合して設立された義務教育学校である。統合に際しては、地域住民も積極的に関わったと聞いているため、その経緯についても話を聞きたいと考えている。次回の懇話会では、この学校を見学する予定であり、新しい学びの場としての取り組みや地域の参加について詳しく聞けることを期待している。

- ・校舎を新しく建てるとしたら、どのくらい期間がかかるのか。
- ・立て替えの間どちらかの小学校に行って、どちらかの学校を新しく建て直すというのも考えられる。

### 《教育委員会》

⇒設計で1年、工事に入って3年程度が標準的。小中一貫校についても、選択肢の一つとして考えていきたい。

- ・この懇話会は未来を見据えて、ということはあるが、アンケートを取っている現時点で、保護者の中でも統合に対する意識でさえまだまだ差がある。通学の問題や夏場の熱中症への対策については不安を抱いている保護者が多いため、これらの課題を解決した上で、統合のメリットをしっかりと伝えることが重要だと感じる。
- ・いろいろな人の意見を聞くこともわかるが、次をどう進めていくのかが気になっているところ。前向きな人も多い中で、そんなに時間をかける必要があるのかとも感じる。

### 《教育委員会》

⇒丁寧に聞き取りを進めるほど、さまざまな意見が出てくる。ただし、まずは多くの方の意見を聞き取ることが重要だと考えている。教育委員会として統合の是非についての方向性を、意見をある程度集めた段階でまとめ、今年中に地域説明会で報告することができたらいいと考えている。

- ・次回の地域説明会までに、統合する際の通学支援をどうするかを決めることは難しいのか。

### 《教育委員会》

⇒それは難しいと思う。通学支援がなければ統合は反対だという人もいるが、教育委員会だけで決められることではない。方向性を示し、この部分が問題になっていると明らかにしたうえで、市長部局と話し合っていくというイメージで考えている。

## (2) 児童との意見交換について

### 《教育委員会》

⇒今年度に入ってから授業実施をお願いしたので、清和台小・清和台南小には負担をかけている。以前、子どもにアンケートを取ると言っていたが、現状を子ども達に伝えることができなかつたと反省した。清和台南小学校では、過去から現在までの子どもの数について考える際、子どもが急激に減っているという地域の現状をわかっておらず、4年生は「増えている」という反応で、5、6年でも「少しずつ減っている」という反応だった。そこから学ぶ必要があった。これから、オンラインで様々な規模の学校とつないで、学校生活について質問をして、自分の考えを深めていく予定。

子どもの意見を聞き、アンケートを取ろうと考えていたが、授業の中で考えたことを表現できれば十分だと思う。学ぶ機会として考えることは大切だと考えているが、アンケートという形で意

見を聞くことは行わない。

清和台小学校の授業については、また違った形で子どもたちの学びにつなげたい。共通しているのは、自分たちが住んでいる地域についての学びにつなげたいということ。

### (3) けやき坂小学校校区について

- ・清和台地区の小学校の統合ができたとしても、中学校やけやき坂小の人数が減ることも考えられる。長い目でみて、小中一貫校にしていくという話は、この場ではできないのか。

《教育委員会》

⇒けやき坂小については、単学級が出ているという状況ではないため、まだ地域に説明に入るという段階ではない。

- ・来年度は単学級が出てくるのではないか。

《教育委員会》

⇒傾向としては少なくなるという状況だが、まだ先のことであるためはっきりとはわからない。だが、小中一貫校にすとなれば、けやき坂小も関係してくること。小中一貫校を選択肢のひとつとして進めることになれば、市教委から地域へ説明に行きたい。

- ・地域では、この話は全くしていない。けやき坂地区での小中一貫校については、昔からあった話ではある。

《教育委員会》

⇒今後、統合すとなれば、1つの案として小中一貫校が出てくることになると思うので、そうなった場合は改めてけやき坂小の学校運営協議会で話をしたいと考えている。地域から声が挙がれば、早めに伺うことも考えているので声をかけてほしい。

### (4) 今後の予定について

- ・地域説明会の予定はいつ頃か。

《教育委員会》

⇒12月頃を検討している。年内にはできたら良いと考えている。

- ・跡地を先に決めるのは難しいとのことだったが、ある程度の方針を示しておかないと、地域の意見を聞いていないという印象にもなりかねないのではないか。

《教育委員会》

⇒跡地も決めていないのに統合を決めるのか、ということは毎回出てくる。だが、地域説明会の際に「統合」と方針を出せば、跡地についての意見は当然出てくる。そこは、別の会を立ち上げて進めていくべきと考えている。統合の方向性と、跡地についてはこういう手順で進めていきます、と伝えるところが精一杯と思う。